

## 本県の経済活動の状況

～令和元年度静岡県県民経済計算及び地域経済計算から～

### はじめに

県民経済計算は、県民の経済活動によって1年間に生み出された成果（付加価値）を、生産・分配・支出の三面から総合的かつ体系的にとらえたものです。

本県の経済規模、構造、成長率や県民の所得などを明らかにするだけでなく、①経済力、②経済的な豊かさ、③産業構造を示す指標としても利用されています。

また、地域経済計算は、県民経済計算で推計した県全体の県内総生産を、様々な統計等を基に分割し、県内4地域及び各市町別の経済状況を明らかにしたものです。

今回の特集では、最新値である令和元年度の推計結果から本県の経済活動の状況を理解いただき、様々な事業や施策に御活用いただければ幸いです。

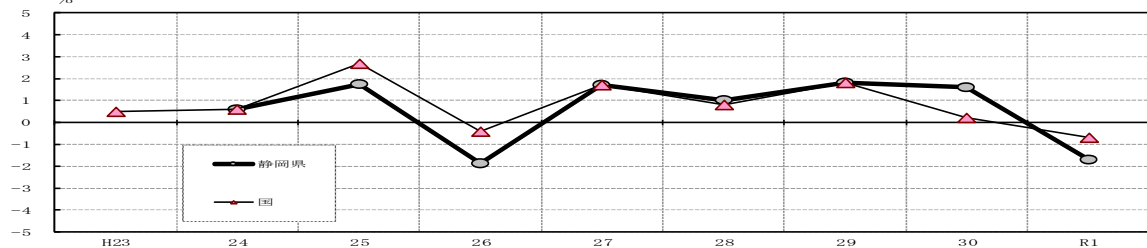
### 1 県全体の経済活動の状況

県民経済計算の推計結果である県内総生産、経済成長率、県民所得及び一人当たり県民所得から、令和元年度の状況を明らかにする。

#### (1) 令和元年度の概況

経済成長率は、実質▲1.7%、名目▲1.5%と、ともにマイナス成長となった。なお、国の成長率（実質▲0.7%、名目+0.2%）と比較すると、実質、名目ともに国を下回った。

図表1 実質経済成長率（連鎖）の推移

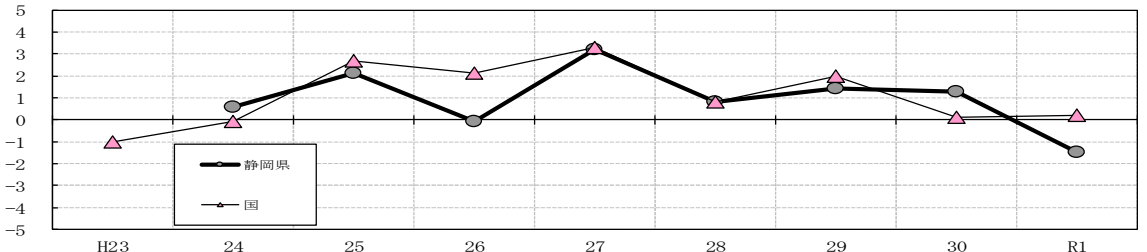


実質（連鎖）経済成長率の推移

項目	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1
静岡県	-	0.6	1.7	▲1.9	1.7	1.0	1.8	1.6	▲1.7
国	0.5	0.6	2.7	▲0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	▲0.7

国値：内閣府経済社会総合研究所『2020年度(令和2年度)国民経済計算年次推計』

図表2 名目経済成長率の推移



名目経済成長率の推移

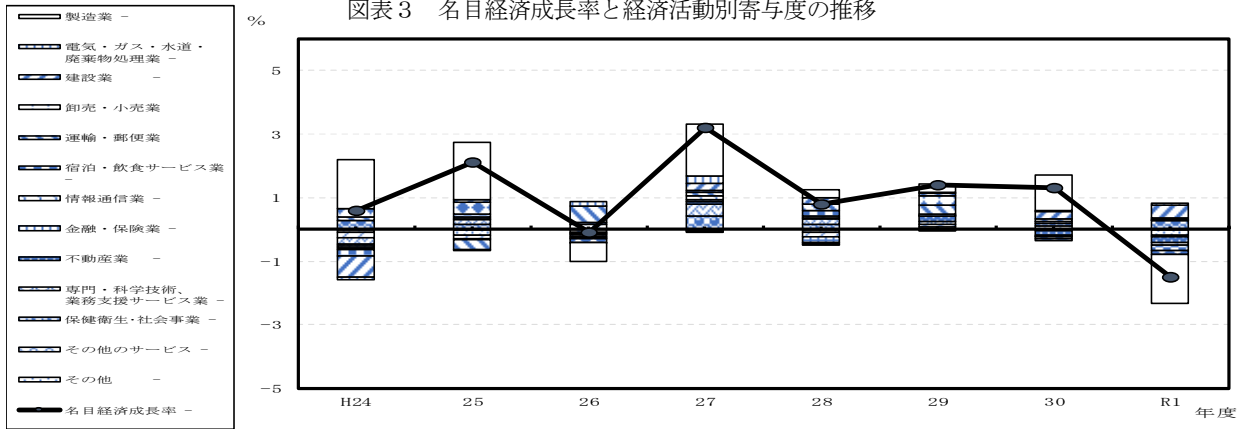
区分	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1
静岡県	-	0.6	2.1	▲0.1	3.2	0.8	1.4	1.3	▲1.5
国	▲1.0	▲0.1	2.7	2.1	3.3	0.8	2.0	0.1	0.2

国値：内閣府経済社会総合研究所『2020年度(令和2年度)国民経済計算年次推計』

## (2) 名目経済成長率に対する寄与度

名目経済成長率▲1.5%に対する経済活動別寄与度が最も大きかったのは、建設業の+0.4%であった。

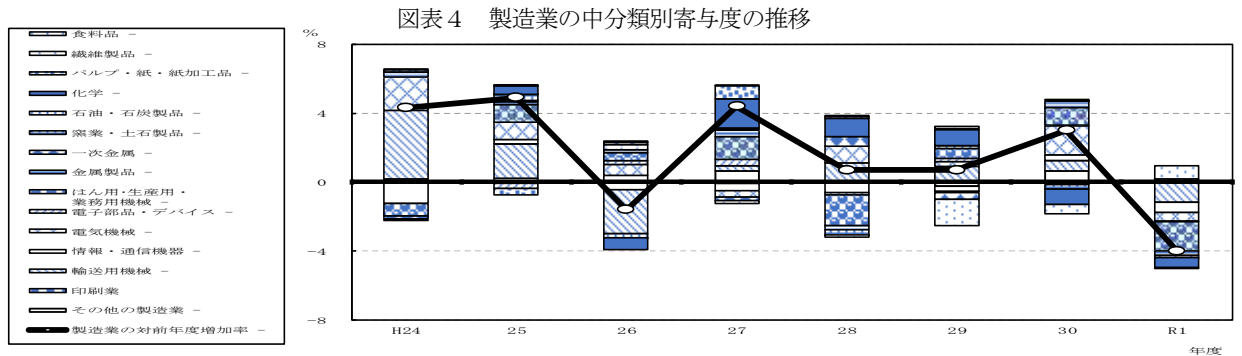
主要産業である製造業の寄与度は▲1.5%で、はん用・生産用・業務用機械及び輸送用機械が振るわなかった。



名目経済成長率と経済活動別寄与度の推移

単位：%

項目	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1
製 造 業	1.5	1.8	▲ 0.6	1.6	0.2	0.3	1.1	▲ 1.5
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 廃 棄 物 処 理 業	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	0.2	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.1
建 設 業	▲ 0.7	0.1	▲ 0.0	0.2	0.2	0.1	0.2	▲ 0.4
卸 売 ・ 小 売 業	0.2	0.4	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	0.3	▲ 0.1	▲ 0.1
運 輸 ・ 郵 便 業	0.1	▲ 0.3	0.5	0.1	0.2	0.3	0.1	▲ 0.0
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	▲ 0.2	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.2	0.1	▲ 0.0	▲ 0.2
情 報 通 信 業	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.1
金 融 ・ 保 険 業	▲ 0.1	0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1
不 動 産 業	▲ 0.1	0.0	▲ 0.0	0.1	0.0	0.2	▲ 0.1	▲ 0.2
専 門 ・ 科 学 技 術 ・ 業 務 支 援 サ ー ビ ス 業	▲ 0.2	0.2	▲ 0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	▲ 0.0
保 健 衛 生 ・ 社 会 事 業	0.3	0.2	0.0	0.4	0.2	▲ 0.0	0.1	▲ 0.3
そ の 他 の サ ー ビ ス	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.1
そ の 他	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	0.1	▲ 0.2
名 目 経 済 成 長 率	0.6	2.1	▲ 0.1	3.2	0.8	1.4	1.3	▲ 1.5



製造業の中分類別寄与度の推移

単位：%

中分類	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1
食 料 品	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 0.7
織 維 製 品	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.0
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	0.1	▲ 0.4	0.1	0.8	0.1	0.0	0.0	▲ 0.1
化 学	▲ 0.0	0.5	▲ 0.7	1.7	1.1	0.9	▲ 0.9	▲ 0.6
石 油 ・ 石 炭 製 品	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0
薬 業 ・ 土 石 製 品	0.0	0.3	▲ 0.3	0.1	▲ 0.3	0.2	▲ 0.2	▲ 0.0
一 次 金 属	▲ 0.2	0.1	0.3	▲ 0.2	0.5	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.1
金 属 製 品	0.3	0.2	0.2	0.4	▲ 0.2	▲ 0.1	0.4	▲ 0.2
はん用・生産用・業務用機械	▲ 0.7	1.0	0.4	1.3	▲ 1.8	0.6	1.0	▲ 1.7
電子部品・デバイス	▲ 0.0	▲ 0.3	0.2	0.4	▲ 0.1	0.2	0.1	▲ 0.0
電 気 機 械	2.0	1.0	0.6	▲ 0.4	1.0	0.3	1.7	▲ 0.5
情報・通信機器	▲ 1.2	0.2	0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.3	0.3	▲ 0.6
輸 送 用 機 械	4.0	2.0	▲ 2.5	0.3	1.1	0.9	0.6	▲ 1.1
印 刷 業	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0
そ の 他 の 製 造 業	0.1	0.2	▲ 0.4	0.7	▲ 0.0	▲ 0.2	0.7	▲ 0.0
製 造 業 の 対 前 年 度 増 加 率	4.3	4.9	▲ 1.6	4.4	0.7	0.7	3.0	▲ 4.0

(3) 県民経済計算の主要指標(県内総生産、県民所得、一人当たり県民所得)の状況

令和元年度の県内総生産(名目)は17兆8663億円、県民所得は12兆4456億円、一人当たり県民所得は340万7千円である。

県内総生産の額は前年度よりも減少したが、平成23年度から連続して全国10位となっており、また国内総生産の約3.2%を占めている。

また、一人当たり県民所得は全国3位となった。一人当たり国民所得の317万6千円と比較すると、金額で23万1千円、率で7.3%上回っている。

なお、東京都は日本の上場企業の本社が集中していることに加え、様々な産業分野が集中している地域であるため、県内総生産等の値は他の道府県と比較し、群を抜いて高くなっている。

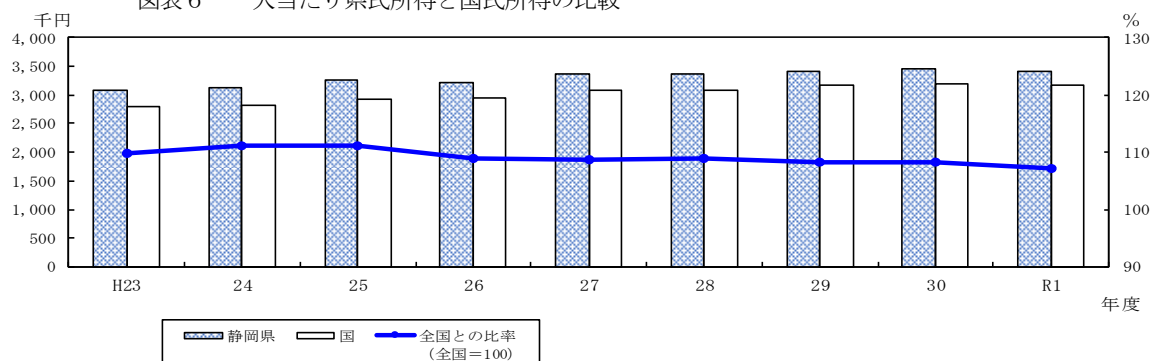
図表5 令和元年度県民経済計算の全国順位

順位	(単位:十億円)		(単位:十億円)		(単位:千円)	
	県内総生産(名目)		県民所得		一人当たり県民所得	
1	東京都	115,682	東京都	80,636	東京都	5,757
2	大阪府	41,188	神奈川県	29,505	愛知県	3,661
3	愛知県	40,911	愛知県	27,666	<b>静岡県</b>	<b>3,407</b>
4	神奈川県	35,205	大阪府	27,015	栃木県	3,351
5	埼玉県	23,643	埼玉県	22,306	福井県	3,325
6	兵庫県	22,195	千葉県	19,212	滋賀県	3,323
7	千葉県	21,280	兵庫県	16,670	富山県	3,316
8	北海道	20,465	北海道	14,892	群馬県	3,288
9	福岡県	19,942	福岡県	14,573	山口県	3,249
10	<b>静岡県</b>	<b>17,866</b>	<b>静岡県</b>	<b>12,446</b>	茨城県	3,247

※計数:内閣府『県民経済計算(平成23年度-令和元年度)』

注意:一人当たり県民所得とは、県民所得を県の総人口で割ったもので、企業の所得等も含んだ県民経済全体の水準を表す指標であり、県民個人の給与や実収入等を表すものではないことに注意が必要である。

図表6 一人当たり県民所得と国民所得の比較



一人当たり県民所得と国民所得の比較

単位:千円

項目	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R1
静岡県	3,073	3,118	3,251	3,224	3,359	3,365	3,422	3,448	<b>3,407</b>
国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,090	3,091	3,161	3,182	<b>3,176</b>
全国との比率 (全国=100)	109.8	111.0	111.1	108.9	108.7	108.9	108.3	108.4	<b>107.3</b>

国値:内閣府経済社会総合研究所『2020年度(令和2年度)国民経済計算年次推計』

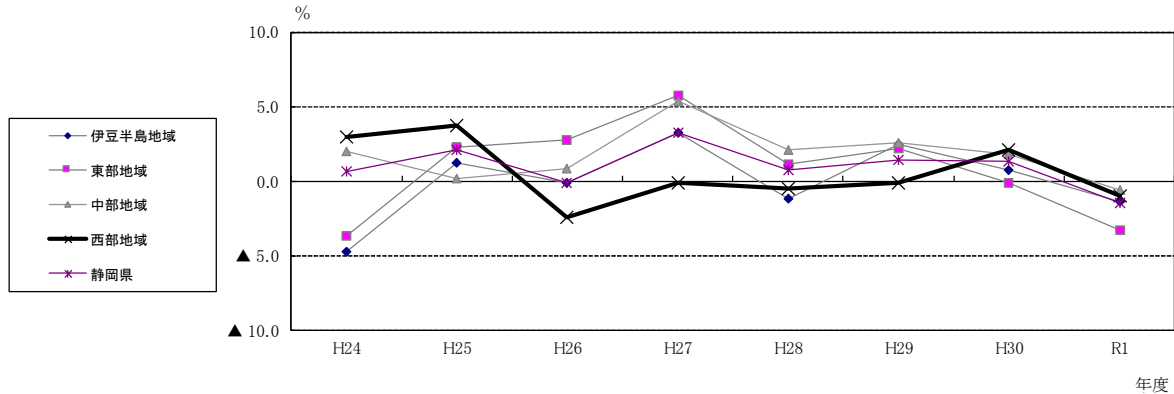
## 2 地域別の経済活動の状況

次に、県総合計画の地域区分である4地域（伊豆半島、東部、中部、西部）に区分し、令和元年度の状況について説明する。

### (1) 地域別経済成長率

令和元年度の地域別経済成長率は、中部地域が▲0.7%と最高で、以下、西部、伊豆半島、東部の順となった。

図表7 地域別経済成長率の推移



地域別経済成長率

単位：%

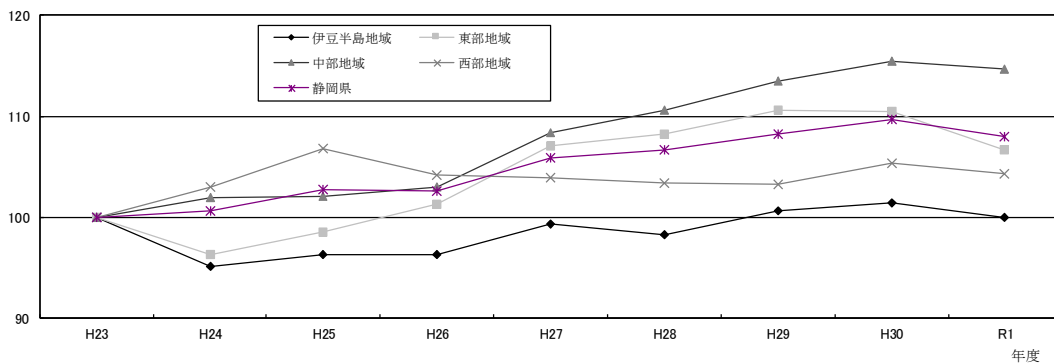
項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H23-R1 平均
伊豆半島地域	-	▲ 4.8	1.2	▲ 0.1	3.2	▲ 1.2	2.4	0.8	▲ 1.4	▲ 0.0
東部地域	-	▲ 3.7	2.3	2.8	5.8	1.1	2.2	▲ 0.2	▲ 3.3	0.8
中部地域	-	1.9	0.2	0.8	5.3	2.1	2.5	1.8	▲ 0.7	1.7
西部地域	-	3.0	3.7	▲ 2.4	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	2.1	▲ 1.0	0.5
静岡県	-	0.6	2.1	▲ 0.1	3.2	0.8	1.4	1.3	▲ 1.5	1.0

### (2) 地域別総生産

令和元年度の地域別の総生産を見ると、西部地域が6兆6095億円で最大となり、以下、中部、東部、伊豆半島の順となった。

平成23年度を100として総生産を時系列で見ると、伊豆半島地域及び中部地域は平成30年度が最も高く、東部地域は平成29年度、西部地域は平成25年度が最も高い。また、伊豆半島地域及び東部地域は平成24年度が最も低く、中部地域及び西部地域は平成23年度が最も低くなっている。

図表8 地域別総生産の推移



地域別総生産の推移

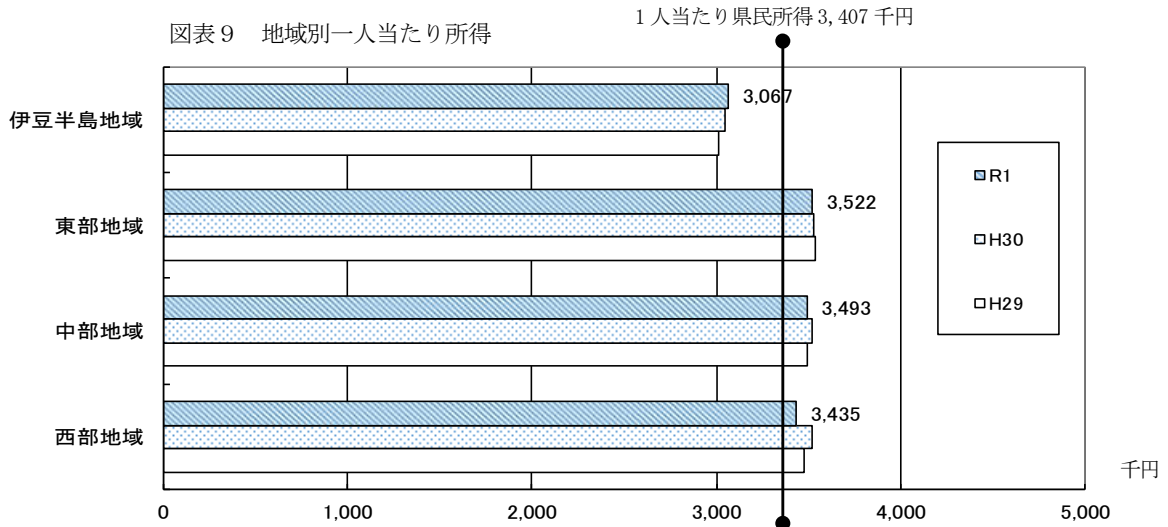
単位：10億円

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
伊豆半島地域	2,201	2,095	2,121	2,118	2,187	2,162	2,214	2,231	2,199
東部地域	4,207	4,053	4,145	4,260	4,505	4,553	4,653	4,645	4,490
中部地域	5,174	5,274	5,284	5,328	5,610	5,725	5,868	5,974	5,935
西部地域	6,337	6,524	6,765	6,599	6,588	6,554	6,543	6,679	6,610
静岡県	16,546	16,646	16,994	16,972	17,522	17,656	17,899	18,139	17,866

(注) 伊豆半島地域と東部地域に重複する市町があるため、地域の合計値と静岡県値は一致しません。

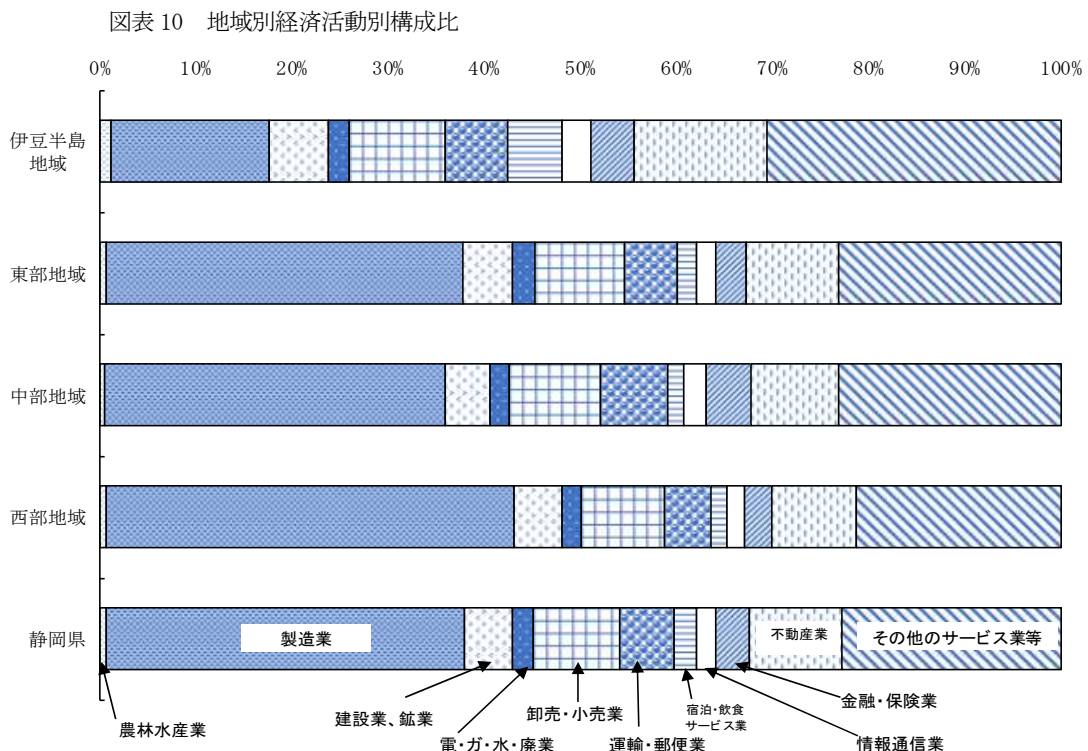
(3) 地域別一人当たり所得

東部地域が352万2千円と最も高く、東部地域、中部地域及び西部地域が一人当たり県民所得を上回った。



(4) 産業構造

地域別経済活動別構成比を見ると、伊豆半島地域では宿泊・飲食サービス業、東部、中部、西部地域では製造業の割合が大きい。



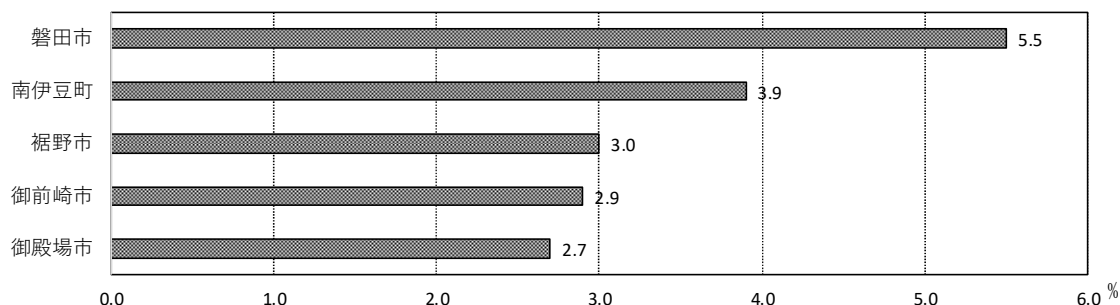
### 3 市町別の経済活動の状況

続いて、市町別の令和元年の状況について説明する。

#### (1) 市町別経済成長率

磐田市が+5.5%で最も高く、9市町がプラス成長となった。

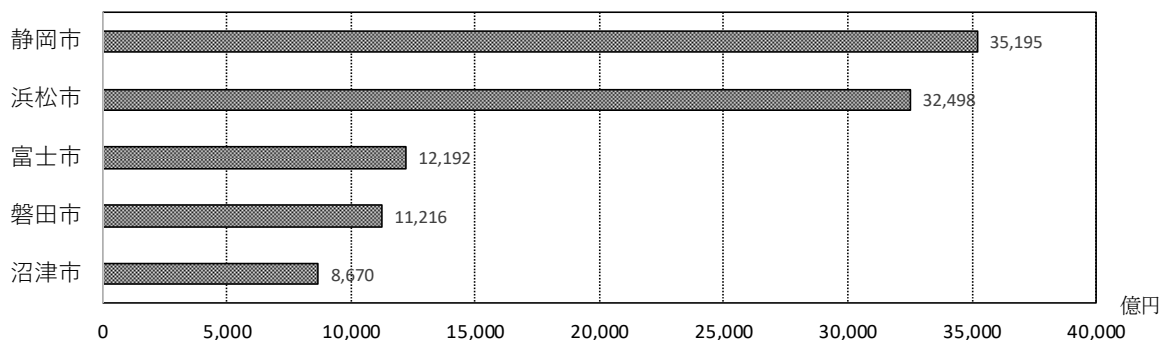
図表 11 市町別経済成長率（上位5市）



#### (2) 市町民総生産

静岡市が3兆5195億円で最も大きく、上位5市で県内総生産の約56%を占める。

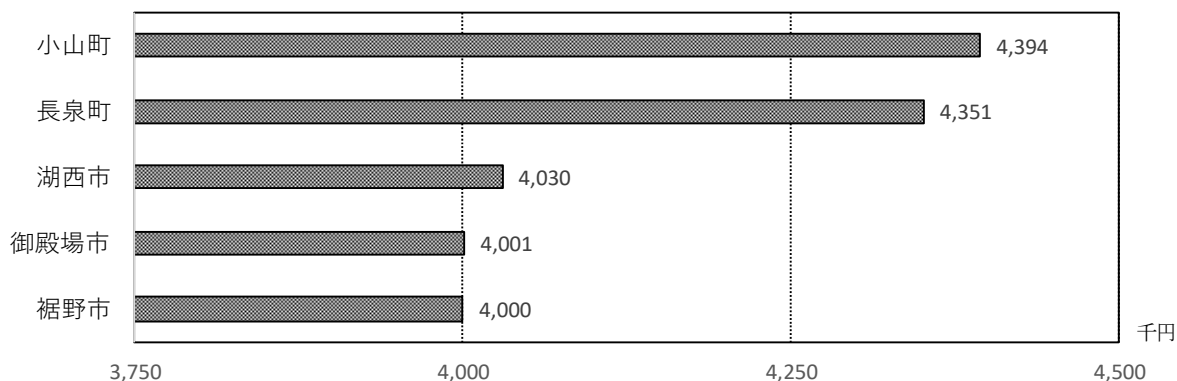
図表 12 市町民総生産（上位5市）



#### (3) 一人当たり市町民所得

小山町が439万4千円で最も高く、13市町で一人当たり県民所得を上回った。

図表 13 市町別一人当たり市町民所得（上位5市町）



### むすびに

静岡県県民経済計算及び地域経済計算の詳細なデータについては、静岡県統計情報サイト「統計センターしずおか」(URL <https://toukei.pref.shizuoka.jp/>) で入手することができますので、ぜひ御覧ください。